

議会だより

ふくしま

第138号

令和5年6月1日発行
福島町議会

(題字：吉岡小学校 1年 さくらば あいり さん)



■ 定例会 3月会議	P 2
■ 夜間議会 (一般質問)	P 4
■ 予算審査特別委員会	P 7
■ 定例会 2月会議	P 9
■ 定例会 3月第2回会議	P 10
■ 定例会 4月会議	P 11
■ 各議案の審議結果	P 12
■ 総務教育常任委員会レポート	P 14
■ 経済福祉常任委員会レポート	P 15
■ 議員歳費・議員定数に関する 全員協議会結果	P 16
■ 町民と議員との懇談会	P 17
■ 会議など出席状況	P 19
■ 議会評価	P 21
■ 議員活動の自己評価・目標	P 23
■ 町民の声 ほか	P 32

ふくしま ふくしま

1年 さとう まいか さん

1年 みかげ しゅうた さん

令和5年度各会計予算を原案可決！

町議会定例会3月会議は、3月8日に開会し、13日に休会しました。
会議では、議案33件、同意2件、発委1件を審議したほか、各会計の
新年度予算は予算審査特別委員会に付託のうえ審議し、いずれも原案
のとおり可決しました。

会期中の参画者は5名でした。

* 予算審査特別委員会の内容は、7～9ページに掲載しております。

町議会定例会 3月会議

条例の制定・改正 ・廃止

個人情報保護法施行条例 を制定

個人情報保護法の改正により、個人情報の取扱いに関する規定を全国的な共通ルールが適用されることとなったため、現在運用している条例を廃止し、町において必要となる事項を定める条例を新たに制定。

犯罪被害者等支援条例を 制定

犯罪被害者が平穏な生活を取り戻すまでの間、日常生活や就業等社会生活に関する支援協力を行うための条例を制定。

職員の定年延長等に伴う 関係条例の一部改正

地方公務員法の一部改正に伴い、関係条例を一部改正。

町内会館管理条例の一部 改正

令和5年3月までに整備が完了した町内会館の名称を統一するため、条例を一部改正。

町議員・町長の選挙運動 の公費負担条例の一部改 正

選挙活動用自動車や選挙運動用ポスターの作成に伴う公費負担額について条例を一部改正。

特別職の職員で非常勤の 者に関する報酬・費用弁 償条例の一部改正

選挙における投票所の管理者、立会人、開票所の管理者、立会人等の報酬について、国の基準に合わせて条例を一部改正。

国民健康保険税条例の一 部改正

国民健康保険税の一部改正政令の公布により、国に準じて国民健康保険税の基礎課税分・後期高齢者支援金等分の賦課限度額を上げるため、条例を一部改正。

ふるさと応援基金条例の 一部改正

企業版ふるさと納税に対応可能とするため、条例を一部改正。

認定こども園、学童保育 における安全計画の策定 等のため条例の一部改正

子ども達が安全に過ごすために、自動車送迎時等の見落としを防止し、所在を確認する。職員に対し、感染症、食中毒の予防、蔓延防止のための訓練を定期的
に実施するなど条例を一部改正。

国民健康保険条例の一部 改正

国民健康保険条例の一部改正により、出産育児一時金の額を8万円増額し、施行規則分と合わせて50万円の支給となった。

企業版ふるさと納税って…？

国が認定した町の地方創生の取り組みに対して企業が寄附を行った場合に法人関係税を税額控除する仕組み。企業として地域振興やSDGsの取り組みなどの社会貢献ができるほか、法人税の高い軽減効果を受けられるメリットがあります。

福島町では「福島町まち・ひと・しごと創生推進計画」が認定されています。

※本制度を活用して福島町に寄附ができるのは、福島町外に本社がある企業です。

計画等の変更

第5次総合計画の変更

事業の見直しや変更、追加により、後期実施計画の一部を変更。

変更後の総事業費は78億2千830万円。

地域防災計画の変更

大雨災害などの際に発令される気象警報等の変更、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に対する新たな防災対策を盛り込んだ国や道の計画改訂との整合性を図るための計画変更。

改訂版の防災マップを作成し、2月に全世帯へ配布。



配布された防災マップ

福島町地域防災計画の変更（一部抜粋）

- ・キキクル（大雨警報・洪水警報の危険度分布）を追加しました。
※キキクルって？ 気象庁のWEBサイトで公開されている地域の災害リスクをリアルタイムに地図上で確認できる仕組みです。
- ・津波避難対策特別強化区域（全国108市町村）に指定され、関連各種施設等の整備を検討します。
- ・災害時に避難所で必要となる食料や燃料等について、具体的な品目を記載しました。
（例：食料：米類、乾パン、麺類、缶詰、乳幼児用ミルク）



森林整備計画の変更

北海道が定めた森林整備計画と整合性を図るため、計画を一部変更。

水道会計資本金の額の減少

資本金から繰越利益剰余金に振替。

水道会計資本金

変更前	602,712,640円
減少額	74,085,850円
変更後	528,626,790円

基金の処分

財政調整基金の積立金の処分

令和5年度一般会計で財源として運用する基金の限度額を4億円とした。

補正予算

令和4年度一般会計・特別会計補正予算

不用となった予算の減額等を行い、次のとおり補正。

単位：千円

会 計 名	補 正 額	補正後の予算総額
一般会計（第13号）	△ 134,744	5,442,176
国民健康保険特別会計（第4号）	△ 104,668	685,188
介護保険特別会計（第4号）	△ 15,222	563,256
後期高齢者医療特別会計（第2号）	△ 1,264	72,792
浄化槽整備特別会計（第3号）	△ 6,326	65,446
国民健康保険診療所特別会計（第5号）	△ 477	110,439
水道事業会計（第4号）	△ 25,413	223,613

議会からの提出議案

議会個人情報保護条例の制定

個人情報保護法の改正により、町に直接適用される法の規定で、議会が原則として適用対象外とされたため、これまでと同様、議会における個人情報保護の取扱いが町と差が生じないようにするため制定。

同意

固定資産評価審査委員会の選任

飯田富雄氏の選任に同意。

監査委員の選任

本庄屋誠氏の再選任に同意。

定例会3月会議 一般質問

5名の議員から6問の一般質問があり、町の対応や考え方をいただきました。

！ 一般質問とは、議員が町長（執行機関）に対して、事務の執行状況や方針について質問したり、報告、説明を求めることを言います。



小鹿 昭義 議員

小鹿議員

町は、道南自治体で初となるがん基本条例を施行し、全てのがん検診を無料化しているが、2020年頃から受診率が伸び悩んでいるのではないかと感じる。また、新規受診者も少なくなっていることから、基本条例に対する町民意識の改革が必要になってきていると思うが、以下の点について伺う。

- 1 2022年度のがん検診受診率
- 2 基本条例の検証
- 3 2023年度の目標値設定と方策
- 4 がんが発見された場合のケア

問

がん基本条例の検証は？

答

がん検診の受診率向上に努めていく

鳴海町長

- 1 2022年度のがん検診受診率：1月末時点で、胃がん18.3%、肺がん31.7%、大腸がん28.2%、乳がん39.4%、子宮がん18.8%。
- 2 基本条例の検証：健康づくり推進員会議で状況を検証し、必要に応じて改善を加えている。
- 3 2023年度の目標値設定と方策：胃・肺・大腸がんは20%、子宮・乳がんは30%を目指し、個別ハガキでの受診勧奨を実施。令和5年度から胃カメラ（胃がん）検診を40歳に引き下げるなど早期検診、発見に努める。
- 4 がんが発見された場合のケア：地元医療機関、専門的な医療機関・北海道との連携を図る。



川村 明雄 議員

川村議員

福島高校の今年度入学者は9人となり、来年10人に到達しないと高校の存続は不能となる。将来も存続は困難という危機感のなか、現況の対策のままだでは状況は変わらないと推察する。

生徒の視点は卒業後の自分の人生を築き上げるための勉学や資格取得と生活の確保であり、生徒の卒業後の夢を叶えられる対策が必要である。

存続対策を確かなものにするためにも、「福島高校から大学などを目指してみませんか！」という対策を加えてはどうか。本事業を実現するために（仮称）「福島商業高校卒業生進学支援基金」の創設と、給付型奨学資金の対応を提案する。

問

生徒が卒業後の夢を叶える対策を！

答

教育課程・生活環境の魅力向上に取り組む

鳴海町長

既存の奨学金制度を活用していくことが第一と考えているが、国では今後異次元の子育て対策を目指しているため、動向を注視しながら必要に応じて適切な対応に努める。

小野寺教育長

入学者が10名に届かなかったことは大変残念であり、最大限努力していく。

入学者から聞いた入学動機は、人間関係の変化、教育課程の魅力、青少年交流センターの快適な環境などであり、高校の魅力を選択の基準にしていると考えられる。

給付型奨学資金の提案だが、進学支援として引き続き無利子の奨学資金等で対応し、生徒が進学したいと思うような教育課程や、生活環境等の魅力向上を重点的に予算配分し生徒の確保に全力で取り組む。



木村 隆 議員

木村議員

松前半島道路建設は、第一優先として防災道路という観点で要請活動を展開している。

要請活動も必要だが、予算が付くかは不透明で、他のブラッシュアップも必要と考える。

それは道開発局の新広域道路交通計画に沿った「広域的な防災機能を担う道の駅」を整備し、防災拠点に対して道路整備要請を行っていく方法である。

渡島管内には広域的な防災機能を担う道の駅がまだなく、有事の際には防災の道の駅が避難場所や災害対策拠点となります。

国道228号線の価値を上げるべく「広域的な防災機能を担う道の駅」を整備することは、**当町の道路政策の必要性を訴える大きな要因になると思うが見解を伺う。**

問

防災機能の道の駅と道路政策の必要性は？

答

防災道路の事業化を最優先に進める

鳴海町長

国道228号線白神・松浦地区の防災対策については、函館開発建設部により、事業化検討の一環として、自治体や医療関係者、産業団体等に対し意見聴取を実施しており、事業化に向けて大きく前進していると受け止めている。

これまでの要望活動とは異なった視点で防災機能を有する道の駅を整備し、その防災拠点に繋がる道路整備を要望する方法の提案だが、**白神・松浦地区間は、海岸線で斜面に災害の危険性を有する箇所が多数存在し、落石等による通行止めが頻発している状況にあり、一日も早い事業化で地域住民の安全で安心な暮らしを確保する必要がある、まずは、防災道路の事業化を最優先し、道の駅の整備については、防災道路と切り離して検討を進めていく。**



平沼 昌平 議員

平沼議員

先日、木古内町で「DXと地方創生について」の講演を拝聴した際、何故か焦りのようなものを感じ、仕事に限らず我々の生活を変革させ、より良いものへと導くことが必要と考えさせられた。今後、降り注ぐようになってくるビッグデータの選りすぐりと活用、人手不足とPCの老朽化の対応等を考えるとデジタルに精通した人材づくり、**専門課の設置や人材配置の検討が必要であり、従前のサービスや仕組み等を組み合わせて新しい価値を見出す必要性も感じるが考えを伺う。**

問

DXに対応できる人材の確保を！

答

民間からの派遣・採用も検討していく

鳴海町長

様々なものがデジタル化されていく中で行政組織も強力な推進が求められており、デジタル専門課の設置や人材の配置は、重要と捉えているが、**人口規模の小さい町では、大変厳しいものと認識している。**

地域おこし協力隊制度の活用や、民間電算会社等からの派遣・採用なども一つの手段として、今後検討する課題と考えている。

現時点のDXに関する町の対応は、国が示す「地方公共団体情報システム標準化基本方針」に基づき、住民基本台帳や税等の標準化対象事業20事業に関連した移行作業を進めている。



佐藤 孝男 議員

問

千軒地区のデマンドバス運行を！

答

新たな公共交通の導入に向けた検討を行う

佐藤議員

千軒地区の住民はほとんどが60歳以上ですが、運転免許の返納を考えている人が増えてきており、数年の間に5人の方が返納し不便な生活をしております。

以前、デマンドバス運行について質問した際、路線バスが通っているからとの理由で却下されたが、現在は状況が変わっており、不便で何とかしてほしいとの要望がある。

優しい福祉のまちづくりの為、千軒地区にも平等な政策をお願いしたいと考えるが如何か。

鳴海町長

町では、高齢者等の移動手段の確保や、地域に必要な交通サービス確保を目的に、「地域公共交通計画」を策定し、持続可能な公共交通体系の維持・確保に努めてきた。

千軒地区では、デマンドバス運行当初に比べデマンド型交通導入の要望が高くなっていることから、地域公共交通活性化協議会において、「千軒地区における新たな公共交通の導入に向けた検討」を施策として計画に位置づけ、地域の実情に合った対策について、令和5年度から検討を進めていく。



問

環境整備に万全を期すためにも町は協力を！

答

取り組みを支援していく

佐藤議員

「殿様街道」が道南唯一の日本山岳古道120選に選ばれ、大変喜ばしく思う。

今まで地域活性化メンバーが歩道環境を整備し、年2回のイベントを行ってきており、1回の開催で50人ほどの方が参加している。

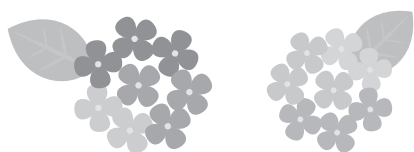
年2回と限定されたイベントで、街道の環境整備も集中的に出来ていたが、これからは普通の日でも多くの方が来ると思われ、万全な環境整備が必要であるが、地域活性化メンバー独自の活動だけでは無理があり、町の協力が必要と考えるが如何か。

鳴海町長

「殿様街道」が山岳古道120選に決定され、大変喜ばしいことだと感じている。

千軒地域活性化実行委員会や町内会の皆様に探訪ルート整備や標柱看板設置等を担って頂いており、先人たちが築き上げてきた古道を後世に残していく責任が町にはあり、**殿様街道の地域資源保全が、千軒地区の活性化を実現し、岩部クルーズ観光と連携した事業を展開する等、町の新たな観光体系の充実に努め、後継者育成についても支援していく。**

探訪ルートの整備は、檜山森林管理署等から協力していただける旨のお話を頂いている。



令和5年度

7会計を含む14件の議案を可決。

一般会計予算51億9,361万2千円

* 質疑・応答は、要約し抜粋を記載しています。
第5次総合計画のまちづくり項目の順で掲載しております。

予算審査特別委員会



平野隆雄予算審査特別委員長

産業の再生による雇用の創出・次世代を担うリーダー等の育成

◎水産、水産加工業

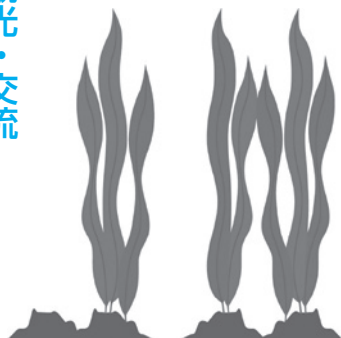
問 木村委員 コンブ養殖省力化を検討するが、より品質

の良いコンブの種苗を作っていくことも必要ではないか。昔に比べて1等コンブになる質の良いコンブが減ってきていると聞く。種苗生産施設も建設することから、種苗の研究も必要だと思うが如何か。

答 昆布の種苗については、組合も苦労していると聞いている。良い品質のものが少ないのは水温など色々な要因があると思う。福島町は北海道の一番南にあり、水温が上がって行くといつまで適地でいられるかという問題もある。一番課題となっている人材不足の検討を足掛かりに、漁業者に問題提起し、段階を踏みながら検討していきたい。

◎観光・交流

問 木村委員 移住者支援事業は就労してくれる人が対象なのか、福島町に来てくれるのであれば誰でも対象とする制度なのか、どういうビジョンで考えているのか伺う。



答 引っ越しの負担を軽減して移住の促進につながるよう、どんな理由であれ移住を目的とした方であれば支援していきたいと考えている。

町民の安心安全な暮らし

◎保健予防・健康づくり

問 平沼委員 リハビリ教室の参加者が減少し新規の掘り起こしが必要とあるが、従来の手法を変えてこちらから参加者の所に出向いて行くような方法は考えられないか。

答 事業の効果は皆さん認めているが、コロナによって高齢者の方が参加しないなど外に出ないくらいがあるため、直接出向いて行う手法もあると考える。高齢者を単純に見守るだけでなく、会話の中から需要を掘り起こすことも必要と考えている。

豊かな環境と若者等の定住 対策・子育て環境の充実

◎ごみ処理、リサイクル

問 小鹿委員 ごみの減量化を推進するため、今年度から電動生ごみ処理機の購入助成を行うとあるが、1台につきどの程度助成するのか。

答 処理機の単価は一般家庭用で大体8万円程度と考えられることから、今回助成率を3分の2以内、6万円を上限として助成していきたいと考えている。

◎佐藤委員

問 千軒の2つの橋の下にはコンビニの袋に入ったごみが散乱しており、用水路を通じて田んぼに入っている状況もあります。不法投棄は見えない部分に大量にあり、巡回の強化や監視カメラを設置しても、ゴミ問題は

なくならないと思うが、町の考えは。

答 ゴミの不法投棄は、個人のモラルが低下していると感じている。モラルに訴える対策として看板等の啓発を繰り返し行い、不法投棄が結果的に皆さんの負担になっていることを訴えていくしかないと思っている。



◎住宅

◎川村委員

問 町内の空家には、所有者がほとんど町外にいてと思われるが、昨年のような災害を伴う大雪の際は、行政から所有者に緊急を要する状況を伝えるようなシステムは考えられないか。

◎空家対策については予算を付けて整理しているが、昨

年の大雪を経験して感じているのは、屋根にたまった雪が隣近所に落ちて迷惑を掛けるもの等について、通報を義務付ける条例で所有者に対し強い対応が出来るのではと考えており、来年の冬に向けて整理をしたいと思っている。

学び合い、たくましい 人を育てる

◎幼児教育、学校教育

◎藤山委員

問 高校の本年度入学が9名となり、来年度に向けた生徒募集の考え方は。

◎地域未来留学に引き続

答 き、対面やリモートで行われる合同説明会への参加も計画しているが、オープンキャンパスが一つの鍵と考えており、10月に開催する方向で調整している。併せて札幌石狩圏を

中心に新たなPR作戦も計画している。

協働のまちづくり・行 財政運営の充実

◎行政運営

◎佐藤委員

問 町では令和4年度に電気自動車1台を入れている。脱炭素化に向けてのことだと思うが、今後導入する公用車は電気自動車に切り替えていくということなのか。

答 電気自動車を令和4年度にリースで1台入れております。電源としても活用でき、最近では千軒で行った雪まつりイベントで商工会に貸し出しており、脱炭素や災害時のことを考えると今後、徐々に公用車は電気自動車になっていくと考えている。

令和5年度 各会計予算総額（前年対比）

（単位：千円）

会 計 名	令和5年度	令和4年度	増 減	増減率(%)
① 一 般 会 計	5,193,612	4,270,693	922,919	21.6
② 国民健康保険特別会計	724,178	760,539	△ 36,361	△ 4.8
③ 介護保険特別会計	550,613	549,479	1,134	0.2
保険事業勘定	549,050	547,705	1,345	0.2
サービス事業勘定	1,563	1,774	△ 211	△ 11.9
④ 後期高齢者医療特別会計	75,266	80,647	△ 5,381	△ 6.7
⑤ 浄化槽整備特別会計	58,012	65,368	△ 7,356	△ 11.3
⑥ 国民健康保険診療所特別会計	111,112	110,237	875	0.8
⑦ 水道事業会計	227,832	249,015	△ 21,183	△ 8.5
7会計 合計	6,940,625	6,085,978	854,647	14.0

除排雪委託費用、 新型コロナ支援物資費用を追加！

定例会2月会議は2月6日に開会、議案1件を審議し、原案の通り可決し休会しました。

町議会定例会
2月会議

補正予算

令和4年度一般会計補正
予算（第12号）

● 道路維持費

単価上昇による除排雪委託料の高騰に対応するため
1千万円追加

● 災害対策費

新型コロナウイルス感染症
自宅療養者への緊急支援
物資用として
75万円追加

● 地方交付税

国税収入の増額や物価高騰
による対応として
5千427万円追加

● 基金繰入金

今回の補正による財源調整
として
4千352万円減額



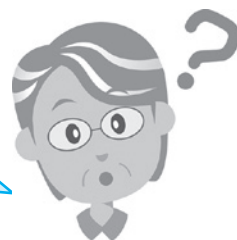
単位：千円

会 計 名	補 正 額	補正後の予算総額
一般会計（第12号）	10,750	5,576,920



昨年大雪に比べると今年は雪が少ないけれど、
どうして除雪委託料が足りないの？

燃料や機械代、人件費など、除雪をするためにかかる
お金が増えてきているんだ。



新型コロナウイルス ワクチン接種費用等を追加！

定例会 3 月第 2 回会議は 3 月 27 日に開会し、同日
休会しました。
議案 6 件を審議し、原案の通り可決しました。



町議会定例会

3 月
第 2 回
会議

補正予算

令和 4 年度一般会計補正
予算 (第 14 号)

文書広報費

特集記事等により掲載
ページが増加したため
9 万 5 千円追加

道路維持費

2 月 25 日以降の除排雪費
用の不足分として
1 千 400 万円追加

繰出金

浄化槽会計事業費が確定
したため
153 万 4 千円追加

令和 4 年度浄化槽整備特
別会計補正予算 (第 4 号)

浄化槽整備工事費の確 定による財源調整

国庫繰入金・町債を減額
し一般会計繰入金を追加
153 万 4 千円追加

令和 5 年度一般会計補正
予算 (第 1 号)

議会運営費

松前半島防災道路の早期
着工に向けた国土交通省へ
の要望活動を行うため
56 万 7 千円追加

予防費

新型コロナウイルスワク
チン接種を実施するため
2 千 600 万円追加

農業振興費

三岳地区農業用水路が崩
落したことによる補修のた
め
270 万円追加

令和 4 年度

単位：千円

会 計 名	補 正 額	補正後の 予算総額
一 般 会 計 (第 14 号)	15,629	5,457,805
浄化槽会計 (第 4 号)	0	65,446

令和 5 年度

単位：千円

会 計 名	補 正 額	補正後の 予算総額
一 般 会 計 (第 1 号)	29,267	5,222,879



◎工事請負契約内容

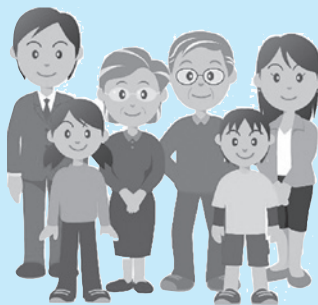
区 分	内 容		
工事名	種苗生産等施設建築主体	種苗生産等施設電気設備	種苗生産等施設機械設備
方 法	指名競争入札	指名競争入札	指名競争入札
金 額	460,350,000円	89,760,000円	271,590,000円
契約者	松本・北村特定建設工事 共同企業体 代表者 株式会社松本組 代表取締役 大越 雄司	檜山・福島特定建設工事 共同企業体 代表者 株式会社松山電気工業 代表取締役 国仙 勝彦	中塚・昭栄特定建設工事 共同企業体 代表者 中塚建設株式会社 代表取締役 中塚 徹朗

契約締結

全町民に1万円分の 地域商品券を発行!!

町議会定例会4月会議は、4月28日に開会し、同日休会しました。

会議では、議案5件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。



町議会定例会 4月会議

条例の改正

町税条例の一部改正

地方税法等改正に伴う「令和5年度税制大綱」により、森林環境税の導入による賦課徴収、大規模の修繕等が行われたマンションに対する固定資産税減免など条例を一部改正。

国民健康保険税条例の一部改正

雇用保険法施行規則等の一部改正に伴い、非自発的失業者に係る国民健康保険税軽減の対象者等を把握する際に、雇用保険受給資格通知を使用することが可能となり条例を一部改正。

介護保険条例の一部改正

令和4年度以前の保険料であって、令和5年4月1日以降に納期限が定められているものについて減免の対象とすることを追加するため条例を一部改正。

補正予算

令和5年度一般会計補正予算(第2号)

● 商工振興費

全町民に1万円分の地域商品券を発行するため

3千726万円追加

● チャレンジスピリット

● 応援事業費

すでに3件の申請があり、今後の申請見込みにより不足が想定されるため、2件分の追加

600万円追加

令和5年度国民健康保険 特別会計補正予算 (第1号)

● 特別調整交付金償還金
新型コロナウイルスに係る交付金の余剰分を返還するため

996万円追加

単位：千円

会 計 名	補 正 額	補正後の予算総額
一般会計(第2号)	43,260	5,266,139
国民健康保険特別会計(第1号)	9,960	734,138

会議配信や過去の会議資料をご覧ください!

町議会ホームページにて各会議の生配信や、過去の会議資料・映像をご覧ください。
ぜひご利用ください。

ご意見、ご感想もお待ちしております。議会事務局議事係までお気軽にご連絡ください。

<https://www.gikai-fukushima-hokkaido.jp/>
✉ gikai@town.fukushima.hokkaido.jp ☎ 0139-47-2215



各議案の審議結果

採決の様子

- ・賛成が○、反対は×、病欠は△、欠席は欠と表示しています。
- ・溝部幸基議長は採決には加わりません。

会議名	議案番号	議 案	議 員 名	佐藤孝男	平沼昌平	木村隆	川村明雄	杉村志朗	藤山 大	小鹿昭義	平野隆雄	審査結果
2月会議 (2月6日)	53	令和4年度一般会計補正予算(第12号)		○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
3月会議 (3月8日～13日)	54	個人情報保護法施行条例		○	○	○	○	△	○	○	○	原案可決
	55	犯罪被害者等支援条例		○	○	○	○	△	○	○	○	
	56	地方公務員法の一部改正に伴う整備条例		○	○	○	○	△	○	○	○	
	57	個人情報保護法改正に伴う整理条例		○	○	○	○	△	○	○	○	
	58	町内会館管理条例の一部改正		○	○	○	○	△	○	○	○	
	59	議会議員・町長の選挙における選挙運動の公費負担条例の一部改正		○	○	○	○	△	○	○	○	
	60	職員の定年等条例の一部改正		○	○	○	○	△	○	○	○	
	61	特別職の職員で非常勤の者の報酬・費用弁償条例の一部改正		○	○	○	○	△	○	○	○	
	62	国民健康保険税条例の一部改正		○	○	○	○	△	○	○	○	
	63	ふるさと応援基金条例の一部改正		○	○	○	○	△	○	○	○	
	64	家庭的保育事業等の整備・運営基準条例の一部改正		○	○	○	○	△	○	○	○	
	65	特定教育・保育施設・特定地域型保育事業運営基準条例の一部改正		○	○	○	○	△	○	○	○	
	66	放課後児童健全育成事業の整備・運営基準条例の一部改正		○	○	○	○	△	○	○	○	
	67	国民健康保険条例の一部改正		○	○	○	○	△	○	○	○	
	68	第5次総合計画の変更		○	○	○	○	△	○	○	○	
	69	地域防災計画の変更		○	○	○	○	△	○	○	○	
	70	森林整備計画の変更		○	○	○	○	△	○	○	○	
	71	令和4年度水道事業会計資本金の額の減少		○	○	○	○	△	○	○	○	
	72	令和5年度一般会計予算		○	○	○	○	△	○	○	○	
	73	令和5年度国民健康保険特別会計予算		○	○	○	○	△	○	○	○	

会議名	議案番号	議 案	議 員 名							審査結果	
			佐藤孝男	平沼昌平	木村隆	川村明雄	杉村志朗	藤山大	小鹿昭義		平野隆雄
3月会議 (3月8日 ～13日)	74	令和5年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	△	○	○	○	原案 可決
	75	令和5年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	△	○	○	○	
	76	令和5年度浄化槽整備特別会計予算	○	○	○	○	△	○	○	○	
	77	令和5年度国民健康保険診療所特別会計予算	○	○	○	○	△	○	○	○	
	78	令和5年度水道事業会計予算	○	○	○	○	△	○	○	○	
	79	財政調整基金の積立金処分	○	○	○	○	△	○	○	○	
	80	令和4年度一般会計補正予算（第13号）	○	○	○	○	△	○	○	○	
	81	令和4年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	△	○	○	○	
	82	令和4年度介護保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	△	○	○	○	
	83	令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	△	○	○	○	
	84	令和4年度浄化槽整備特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	△	○	○	○	
	85	令和4年度国民健康保険診療所特別会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	△	○	○	○	
	86	令和4年度水道事業会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	△	○	○	○	
	同意3	監査委員の選任	○	○	○	○	△	○	○	○	原案 同意
同意4	固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	△	○	○	○		
	発委9	福島町議会個人情報保護条例	○	○	○	○	△	○	○	○	原案 可決
3月 第2回 会 議 (3月27日)	87	令和4年度一般会計補正予算（第14号）	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	88	令和4年度浄化槽整備特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	89	令和5年度一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	90	種苗生産等施設建築主体工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	
	91	〃 電気設備工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	
	92	〃 機械設備工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	
4月会議 (4月28日)	1	町税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	2	国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	3	介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	4	令和5年度一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	5	令和5年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	

全国町村議会議長会による議員表彰



平野 隆雄 議員
在職27年以上により表彰

全国町村議会議長会より、2名の議員が自治功労者として表彰され、定例会3月会議開会前に、溝部議長より表彰状が伝達されました。



川村 明雄 議員
在職15年以上により表彰

総務教育常任委員会レポート

委員長 川村 明雄
副委員長 平野 隆雄
委員 木村 隆
杉村 志朗
溝部 幸基

調査事件11

防災計画の見直しについて

— 令和5年2月10日調査 —

❗ 防災計画の見直しに関する資料が示されたことから、内容を調査しました。

概要版を作成、町民の防災意識が醸成されるよう説明を！

見直しの内容については一定の理解をしたが、次の事項を検討願いたい。

● 防災計画

近年の災害状況に対応した内容となっているが、当町では冬期間における対応が重要であり、集中的に検討する必要があると思慮する。

新たに渡島大島の噴火警報が発令された際の態勢について追加されているが、有事の際に迅速・適切な対応が取れるよう、データ収集が必要であると思慮する。

● 防災備蓄等

備蓄品の内食料品について、近年、簡単に摂取でき保存も効く「グミ等備蓄ゼリー」に変えている例があるので検討されたい。



新しく備蓄された羊かんとゼリー

● 防災設備等

関係機関・町内会等と協力して定期的な点検・管理を行うよう指摘する。

調査事件12

第5次職員定員管理適正化計画について

— 令和5年2月10日調査 —

❗ 計画の基本的な考え方について資料が示されたことから、内容を調査しました。

職員のケア、研修の充実を！

計画の基本的な考え方については一定の理解をしたが、次の事項を検討願いたい。

● 社会人枠の採用基準

社会人枠の募集要件の内年齢については40歳以下としているが、働く意欲のある人材を幅広く募集するために、年齢条件の拡大も必要と思慮するので検討されたい。

長期休養者等が増加傾向にある点については、早急に分析を進め職員をケアする環境を整備する必要があると思慮するので検討されたい。

● 管理職研修等の充実

定年延長と併せて役職定年制が導入され、次の管理職となる職員の適性を向上させるためにも、早い段階から職階ごとの研修等を積極的に受講させていく必要があると思慮するので検討されたい。



経済福祉常任委員会レポート

委員長 佐藤 孝男
副委員長 藤山 大
委員 平沼 昌平
委員 小鹿 昭義
委員 平野 隆雄
委員 溝部 幸基

調査事件19

農業振興地域整備計画の見直しについて

— 令和5年2月10日調査 —

！ 計画の見直し概要が示されたことから、内容について調査しました。

新規就農者への支援、生産組織の法人化に向けた取り組みを！

見直し概要については一定の理解をしたが、次の事項を検討願いたい。

● 担い手対策について

新規就農者の育成を検討する際には公的支援等を検討する必要があると思慮する。

転業の社会人や農業高校の卒業生の中には、土地がないため就農できないケースもあり、町が仲介する等の支援を検討すべきと思慮する。

新規就農者を指導助言する体制等、受け入れ実態を十分精査し、他町から呼び込むためのホームページ作成等でのPRについても検討されたい。

● 法人化に向けた取り組みについて

計画の見直しにあたっては、当町の実態とは大きく乖離しており、計画通り事業を進めることは困難と思慮する。

家庭菜園等を含めた農地利用の実態をしっかり把握し、現状の個人による小規模経営を組織化し、公的支援等の受け皿として対応できるよう指導・助言していくこと。
まず、町の主要作目である「米」と「ソバ」の法人化を進めるため関係者等と協議を行う必要があると思慮するので検討されたい。



令和5年度 議会費の使い道

前年度より1,005千円の増額

単位：千円

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	概 要
報 酬	23,771	24,706	△ 935	議員歳費、諮問会議委員報酬
給 料	13,206	12,027	1,179	事務局職員4名分（うち会計年度任用職員1名）
手 当 等	16,978	16,972	6	議員・事務局職員の期末手当
共 済 費	13,897	13,659	238	議員・職員共済費
報 償 費	100	100	0	専門的知見謝金（審査・調査）
旅 費	2,117	1,730	387	議員・事務局の出張に係る旅費ほか
交 際 費	200	200	0	慶弔費ほか
需 用 費	1,306	1,186	120	議会だより印刷製本費、消耗品費ほか
使 用 料 ・ 賃 借 料	1,271	1,263	8	ペーパーレス会議システム使用料ほか
備 品 購 入 費	0	158	△ 158	管理用備品購入費
負 担 金 ・ 補 助 ・ 交 付 金	1,843	1,682	161	各加入団体負担金、政務活動費ほか
償 還 金 ・ 利 子 ・ 割 引 料	1,081	1,082	△ 1	備考資金組合償還金（議会中継システム更新）
合 計	75,770	74,765	1,005	* 町予算書では、事務局職員4名分の給料等が、「職員・会計年度任用職員給与費」に計上されているため、この表の予算額と一致しません。

議員定数・議員歳費に関する 全員協議会 結果報告

(全員協議会 令和5年3月13日開催)

議員定数と議員歳費のあり方について、議会として集中的に調査・審議するために設置した調査特別委員会からこれまで行ってきた検討について報告を受けた後、議員間で意見交換を行いました。

その結果、諮問会議の答申案に沿った

「議員定数は10人で現状維持」 「議員歳費は月額216,000円に増額」

として、定例会6月会議提案に向けて改正条例を調整することとしました。

● 議会基本条例諮問会議の答申

○ 議員定数

適正な議員定数については、諮問のとおり**10人(現状維持)**でよいと考える。なお、人口減少が進んでいく中で、今後も議員定数がどうあるべきかの議論を続けていく必要があると考える。

○ 議員歳費

議員歳費月額については、現状の算定方式を基本になり手(若者、女性)不足対策として**増額を次期改選期(令和5年9月)に向けて検討すべき**と考える。なお、その際は、町民に対して十分説明し納得を得られる機会をつくり進められるよう留意願う。

● 調査特別委員会での審議結果

○ 議員定数

多数意見として委員会中心の議会運営を行っている現状と諮問会議の答申から10人(現状維持)とする考え方と、少数意見として議員定数と歳費を一体的に考え、歳費を見直すのであれば8人とする考え方があり、今後開催予定の懇談会の意見を集約したうえで結論を見出すこととした。

○ 議員歳費

上げる方向で見直すことに異論はなかったものの、明確な上げ幅について集約できず、今後開催予定の懇談会で、諮問会議答申にある見直し案をベースに町民の意見を集約したうえで結論を見出すこととした。

● 令和4年度町民と議員との懇談会での意見

◇17会場(109件)

・ 議員定数について

増やすべき	3件
減らすべき	8件
現状維持	11件

・ 議員歳費の増額について

上げてもいい	15件
定数を減らし歳費を増やす	2件
疑問がある、納得できない	7件

● 議員間の意見交換

これまで行ってきた検討の結果、「議員定数は10人で現状維持」、「議員歳費は諮問会議答申案のケース2の月額216,000円に増額する」ことについて

賛成 5人

- ◆町民と議員との懇談会で説明し、歳費を上げることについては理解してもらったと思う。若手・女性が新しく議員になるために、さらに上げていいのではないかと。

反対 2人

- ◆歳費を上げるのであれば定数は減らすべきというスタンスは変わらない。
- ◆月額300,000円に増額すべき。

※特別委員会・議会運営委員会での審議結果・議会基本条例諮問会議の答申の詳細については第137号に掲載しております。

「町民と議員との懇談会」は、町民に対する説明責任を果たし、情報を共有するため毎年開催しております。

令和5年2月2日～9日の6日間、17会場で開催しましたので、その概要を報告します。

議員定数・議員歳費について多数の意見をいただきました！

2月2日 松浦・吉野
館崎1・2・3
豊浜・宮歌



● 賛成

- ・定数は10人が妥当だと思う。
- ・町民のために基本とし、自信を持って決め、おれずに今までどおりやったほうがいい。
- ・定数8人に減したら、町民の意見が反映できるか心配。

● 反対

- ・歳費は他三町と比べて今でも高い。増額の理由がなり手不足だけでは弱い。
- ・今の町民は議会に関心がない。歳費を上げてもなり手が出てくると思わない。

2月3日 吉岡1・2・3
白 符
上町・本町・川原町



● 賛成

- ・昔より会議が多くなっているため給料と同じ考え方にしないと若いなり手じゃ出てこない。
- ・定数を減らすのは反対。町民の意見が反映されなくなる。

● 反対

- ・歳費を上げることは反対しないが、議員が10人いなきゃいけないというのが疑問。
- ・歳費が四町で一番高いが、人口が一番少ないため、歳費を上げる話は筋が通らないと思う。

2月6日 日向1・2・3
吉田町・館古
月崎 1



● 賛成

- ・今回の提案は良いと思う。前向きに期待したい。
- ・定数は10人必要。歳費は町の財政全体のバランスを考慮しなければならないが、ある程度の値上げは必要だと思う。

● 反対

- ・歳費を上げることで町民になにか利点はあるのか。ないのであれば町民は定数そのまま歳費を上げることは納得しないと思う。

2月7日 月崎 2
丸山団地
塩釜



● 賛成

- ・若手を増やすために定数を上げるという方法もあるのではないか。
- ・全国的に歳費を上げる方向なのは理解している。

● 反対

- ・近隣四町と比べて福島が1番高い。町民が納得するか。
- ・近隣で1番高いのに人口が少ないのはどうだろうか。

2月8日

緑 町
新栄町



新栄町

● 賛成

- ・ 近隣に合わせるのではなく算定方式があつていいと思う。
- ・ 定数に関しては動かさなくていい。

● 反対

- ・ 人口が減っているのに2つの委員会にこだわって議員10人必要というのはおかしい。
- ・ 今の定数で歳費だけ上げるのは納得できない。

2月9日

三岳 1
三岳 2
千 軒



三岳 1

● 賛成

- ・ 今の歳費だと若い人は議員一本で生活できない。上げるのは賛成。
- ・ 歳費を上げるのは賛成。そのかわり知恵を絞らなくては町がより住みやすいようになることを考えてほしい。

● 反対

- ・ 物価が上がっている中、年金暮らしの人が大変な状況のため賛成はできない。
- ・ 議会は10人でなければ成り立たないのか。

その他にも多岐にわたるご意見をいただきました！

議員のなり手

● なり手不足対策

- ・ 一般町民から議員になった場合、町政の事をわかっていないから敷居が高く感じられるのではないか。
- ・ 議員として何をすればいいのかわからないということもあるので、サポートが必要。若者・女性を対象とした勉強会を行えば興味を持ってくれるのではないか。

産 業

● 農林

- ・ 椎茸生産者が減ってきている。町外から後継者を入れ団地を作り、受入れ事業所を第3セクター形式で作ることを検討してはどうか。

● 観光

- ・ テレビ番組で福島町が取り上げられたのを見たが、水産加工場が少し出ただけで、クルーズは知内町のもののように宣伝されていた。

教 育

● 福島商業高校

- ・ 青少年交流センターの建物が立派なので、生徒募集をもっと頑張ってもらわないと勿体ない。
- ・ 他所でもやっていないような思い切った考えをしないと無理だと思う。例えばオリンピック選手の育成所みたいな特色を出さないといけない。
- ・ 部活の指導者がしっかりしていれば行きたくなり、オンリーワンにもつながるのではないか。

その他

● 情報共有

- ・ 岩部クルーズが好調だと聞くが、何人乗船していくら黒字になったか、陸上養殖アワビの施設についても、町の投資額、稚貝の購入数、販売数や金額について町民に詳しく説明してもらえるとありがたい。

● なり手不足

- ・ 議員もなり手不足だが町内会役員もなり手がいない。

会議等出席状況

会議や議会へ通知があった行事等の2月から5月までの出席状況をお知らせします。

「○」は出席、「×」は欠席、「－」は出席不要・任意、「◎」は委員外議員として出席、「△」は別公務・病欠のため、「職」は正副議長の職務出席を表しています。

月 日	会 議 ・ 行 事 名	佐藤	平沼	木村	川村	杉村	藤山	小鹿	平野	溝部
2月 2・3・6日	町民と議員との懇談会（町内9会場）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6日	議会運営委員会（2月会議の運営）	○	○	－	○	－	－	○	職	職
	定例会2月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（2月会議の反省事項）	○	○	－	○	－	－	○	職	職
7・8・9日	町民と議員との懇談会（町内8会場）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10日	総務教育常任委員会	◎	◎	○	○	○	◎	◎	○	○
	経済福祉常任委員会	○	○	－	－	－	○	○	○	○
16日	渡島西部四町議員協議会総会・研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21日	福島町スポーツ・文化賞表彰式	－	－	－	○	－	－	○	－	○
25日	前田かずお事務所開き（七飯町）	－	－	－	－	－	－	－	－	○
27日	総務教育・経済福祉常任委報告書手交	○	○	－	○	－	－	－	○	○
	渡島西部広域事務組合議会第1回定例会	○	－	－	－	○	－	－	－	○
3月 1日	福島商業高等学校卒業式	○	－	－	○	－	○	－	－	○
2日	一般質問通告・議会運営委員会	○	○	○	○	－	－	○	職	職
6日	議員勉強会	○	○	○	○	△	○	○	○	○
8日	定例会3月会議・夜間議会（一般質問）	○	○	○	○	△	○	○	○	○
9日	定例会3月会議	○	○	○	○	△	○	○	○	○
	予算審査特別委員会	○	○	○	○	△	○	○	○	職
10日	予算審査特別委員会	○	○	○	○	△	○	○	○	職
12日	おおさか誠二2023年陽春国政報告会	－	－	－	－	－	－	－	－	○
	第2青函トンネル講演会（藤井聡京大教授）	○	○	○	○	△	○	○	○	○
13日	定例会3月会議	○	○	○	○	△	○	○	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	△	○	○	○	○
	議会運営委員会（3月会議の反省事項）	○	○	－	○	－	－	○	職	職
15日	福島中学校卒業式	○	○	○	○	－	－	○	○	○
18日	鈴木直道道南総決起大会	－	－	－	－	－	－	－	－	○
22日	青少年交流センター新潮学舎落成セレモニー	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23日	福島幼稚園保育証書授与式	－	－	－	－	－	－	－	－	○
24日	福島保育所卒園式	－	－	－	－	－	－	－	－	○
27日	議会運営委員会（3月第2回会議の運営）	○	○	－	○	－	－	○	職	職
	定例会3月第2回会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（3月第2回会議の反省事項）	○	○	－	○	－	－	○	職	職
31日	福島吉岡漁業協同組合総会	－	－	－	－	－	－	－	－	○
4月 3日	辞令交付	－	－	－	－	－	－	－	－	○
5日	福島保育所入園式	○	－	－	－	－	－	○	○	○

月 日	会 議 ・ 行 事 名	佐藤	平沼	木村	川村	杉村	藤山	小鹿	平野	溝部
6日	福島小学校入学式	○	—	—	—	—	—	○	○	○
	福島中学校入学式	○	—	○	—	—	○	○	○	○
10日	福島幼稚園入園式	—	—	—	—	—	—	—	—	○
	福島商業高等学校入学式	—	—	○	—	—	—	○	○	○
15日	商工会青年部通常総会	—	—	○	—	—	—	—	—	○
18日	林野火災予防消防対策協議会	○	○	—	—	—	—	—	—	○
19日	正副議長議案説明	—	—	—	—	—	—	—	○	○
23日	北海道福島会総会・懇親会（東京都）	○	○	○	△	○	○	○	○	○
24日	国土交通省要請活動（松浦～白神・防災対策）	○	△	○	△	○	○	○	○	○
27日	福島町相撲協会総会	—	—	—	—	—	—	—	○	○
28日	議会運営委員会（4月会議の運営）	○	○	—	○	—	—	○	職	職
	定例会4月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（4月会議の反省事項）	○	○	—	○	—	—	○	職	職
5月 11日	渡島総合開発期成会役員会（函館市）	—	—	—	—	—	—	—	—	○
13日	長谷川岳政経セミナー（札幌市）	—	—	—	—	—	—	—	—	○
	町民森づくり植樹祭	○	○	—	—	—	—	○	—	—
14日	女だけの相撲大会	—	—	—	—	—	—	—	○	○
15日	第1回議会基本条例諮問会議	—	○	—	—	—	—	—	○	○
	春の交通安全大会・祈願祭	—	—	—	—	—	—	—	—	△
18日	議会運営委員会（5月会議の運営、議会だより編集）	○	○	—	○	—	—	○	職	職
	定例会5月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（5月会議の反省事項）	○	○	—	○	—	—	○	職	職
	福島町商工会通常総会	—	—	—	—	—	—	—	—	○
22日	渡島総合開発期成会定期総会（函館市）	—	—	—	—	—	—	—	—	○
23日	全国議長・副議長研修会（東京都）	—	—	—	—	—	—	—	○	○
	自治体議会特別セミナー in 函館	—	○	—	—	—	—	○	—	—
25日	渡島町村議会議長会役員会（函館市）	—	—	—	—	—	—	—	—	○
	観光協会通常総会	—	—	—	—	—	—	—	—	○
26日	渡島西部四町議員協議会理事会（知内町）	—	×	—	—	—	—	—	○	○
	渡島廃棄物広域連合議会臨時会（北斗市）	—	○	—	—	—	—	—	○	—

議会事務局の人事異動

令和5年1月31日付け

● 退職

（議事係主事）大山 瑞稀

令和5年4月1日付け

● 町長部局より出向

議事係主任 角谷 里紗

（総務課総務防災係）

令和5年度の事務局体制

事務局長	鍋谷 浩行
議事係長	福井 理央
議 事 係	角谷 里紗
会計年度任用職員	熊谷 治子

議会の評価

【令和4年度（1年間）の活動結果】

「議会活動評価要綱」に基づき、議会活動を主要10項目と具体的な40項目に区分し議員・議会の活動状況の基礎資料と、全国・全道の町村議会の実態や先進的な運営をしている議会などと比較検討し、議会運営委員会（4月28日決定）が評価し、諮問会議で内容を検討して町民に公表するものです。

昨年と比べ「文書質問」「各団体との懇談会」について一段階引き下げ、「一般質問」「研修等への効率的な取組」について一段階引き上げています。引き続き「町民が実感できる政策を提言する議会」を目指し、評価結果・諮問会議の意見を参考にしながら新たな課題を設定し、豊かな町づくりを目指して不断の努力を続けてまいります。

評価の分類：○＝「概ね一定の水準にある」 △＝「一部水準に達していない」 ▲＝「取組が必要」

主 要 評 価 項 目	具体的な項目	過去3年間の評価			R 4 評価	摘 要
		R元	R 2	R 3		
1. 議会の 活性度	①一般質問 (人数・項目件数)	○	△	△	○	R 4年度の一般質問件数は15人・16項目であり、人数・項目件数ともに昨年度と同数となっている。1 定例会平均質問者数3.8人(41.6%)(全国6.2人(52.5%)、全道4.5人(41.3%)、渡島管内4.1人(33.6%))となっている。より積極的な一般質問への取組が必要である。
	②質疑・意見交換	○	○	○	○	本会議、常任委員会、予算・決算審査特別委員会等での審議を活発に行っている。常任委員会所管事務調査数は31件(総務教育常任委12件、経済福祉常任委19件)となっている。引き続き質疑・意見交換内容を充実する。(平均質疑者・回数：定例3人6.3回、定例外1.0人 1.9回、委員会3.6人 15.6回)(平均意見交換者・回数：定例0.8人 1.0回、定例外0.5人 0.9回、委員会3.6人 12.6回)
	③討議・討論(本会議)	△	△	△	△	常任委員会所管調査、事前勉強会等の実施により本会議での討議・討論は少ないものとなっているが、引き続き「議員間討議要綱」に基づき、論点・争点を明らかにした討議・討論への取組が必要である。(R 3＝0件、R 4＝0件)
	④討議(委員会)	○	○	○	○	各種委員会において質疑・意見交換で出された内容を論点整理した項目に沿って活発な議員間討議を行っている。 (R 4開催日数：常任委員会＝20日、特別委員会＝7日)
	⑤議員提案	○	○	○	○	所管事務調査結果を行政側に手交することで議会の考えが政策等に反映されている。一般質問項目、「町民と議員懇談会」意見についても常任委員会で検討したが、所管調査として取組む事案はなかった。
	⑥文書質問	△	△	△	▲	R 4年度の実績はなかった。これまでも質問が特定の議員に偏っており、項目数も低下傾向が続いていることから、政策提案等に向けた文書質問への取組が必要である。(R 2＝実1人、4項目 R 3＝実1人、2項目 R 4＝0人)
2. 議会の 公開度	①会議の公開	○	○	○	○	本年度は100%公開し、委員会もライブ中継・録画配信を行っている。
	②審議記録の公開	○	○	○	○	ホームページで全て公開している。
	③審議前会議資料の公開	○	○	○	○	基本的に全て公開している。(議場・ホームページ)
	④議会経費の公開	○	○	○	○	決算内容を含め、交際費・政務活動費などの詳細も全て議会だより・HPで公開している。
	⑤視察報告の公開	○	○	○	○	本会議・ホームページで公開している。
	⑥全員協議会の公開	○	○	○	○	ライブ中継・録画配信を行っている。
	⑦会議公開の充実 (ライブ中継)	○	○	○	○	適宜、配信機器の更新を実施し、鮮明な映像配信を行っている。町民要望に応え、スマートフォンでの視聴も可能(R元からライブも視聴可能)となっている。 全道＝85議会(議会中継実施)
3. 議会の 報告度	①議会だより・速報版等の発行	○	○	○	○	議論状況や内容をより分かりやすくまとめ、質疑等の掲載も充実させた。H28.6月発行分からは文字サイズを拡大している。 全道＝単独発行125議会
	②議会ホームページの運用	○	○	○	○	H28年3月より議会ホームページをリニューアルしている。引き続き、迅速な公開に努める。 全道HP＝131議会
4. 住 民 参加度	①各種団体との懇談会の開催 (常任委員会の活動)	△	△	○	△	R 4年度は開催実績なし。テーマと開催方法(住民主催等)を工夫した取組が必要である。【懇談会：R 2＝0回、R 3＝9回、R 4＝0回】
	②町民と議員との懇談会の開催 (議会報告会)	○	○	○	○	R 4も議員を3班に分け町内会単位で実施した。引き続き懇談内容の充実への取組が必要である。前回開催時にコロナ感染症関連で延期となった地区についてもR 4.5月に実施した。(R 3延期分＝4日間・11会場46人、R 4＝6日間・17会場86人) 全道＝39議会
	③参画者への対応と参加度	○	△	△	△	参画者にも同様の資料を用意している。討議への参画が課題である。 (R 3＝定例10人、平均2.5人 定例外3人、平均0.8人) (R 4＝定例15人、平均3.8人 定例外3人、平均0.4人) (全道平均＝定例7.4人、定例外1.0人)
	④休日・夜間議会の開催	○	○	○	○	H19から夜間議会(定例)を開催している。 (参画者 R 3＝4人、R 4＝6人) 全道＝夜間2議会、休日5議会

主 要 評 価 項 目	具体的な項目	過去3年間の評価			R4 評価	摘 要
		R元	R2	R3		
5. 議会の 民主度	①一般質問の改善（一問一答方式、回数・時間制限廃止）	○	○	○	○	一問一答方式を実施している（H12）。質問回数・時間の制限規定を廃止している（H20）。全道＝118議会（一問一答方式採用）
	②説明員との対面方式	○	○	○	○	庁舎建設時から実施している（H6）。全道＝132議会
	③一般質問の答弁書配付	○	○	○	○	実施済み（H13.9）。質問に関する的確な（漏れや補足答弁を必要としない）通告書、答弁書となるよう改善に努めている。
	④議会における選挙の改善（正副議長選挙での所信表明）			○	○	正副議長選出の際の所信表明を福島町議会基本条例（H20）で規定している。
6. 議会の 監視度	①長との適正な関係の維持（議員の政治倫理に関する取り組みの経過）	○	○	○	○	議会議員の不当要求行為等を防止する条例を制定（H20）、条例内容を拡充した議会議員政治倫理条例を制定（H30）、町長との適正な緊張関係を維持している。
	②全員協議会の適切な運用	○	○	○	○	事前協議となるような執行者からの要請による開催はしない。
	③議会権能（けん制・批判・監視等）の適切な遂行	○	○	○	○	定例会毎に議会運営等に係る反省点等を文書にまとめ、行政側に手交し説明している。常任委員会所管事務調査で取りまとめた調査意見（報告書）を行政側に手交し説明、意見交換することで委員会の意向が政策に反映されている。
	④一般質問等答弁事項の追跡調査	○	○	○	○	本会議、予算・決算審査特別委員会での一般質問等に対する町長、副町長、教育長の答弁内容に一定の指定事項を設け、追跡調査を行っている。（追跡調査件数 R2＝1件、R3＝4件、R4＝1件）
7. 議会の 専門度	①所管事務調査の充実強化	○	○	○	○	常任委員会の所管事務調査は論点・争点を整理し委員間で討議し意見をまとめている。委員会の意見が政策に反映されるよう、調査意見（報告書）を行政側に手交し説明、意見交換している。〔調査件数 R3＝24件、R4＝31件〕
	②政策立案・審議能力の向上強化	○	○	○	○	各常任委員会所管事務調査において、条例の制定・改正、事業計画等の案件について、議会として町民の利益になるような修正意見を提言している。 ・町民プール屋根改修工事・学校給食の地元食材活用 ・有害鳥獣残滓減量化施設の整備・町内除雪支援体制の整備 ・家庭ごみ減量化対策等 令和3年度決算に基づき67件（総務教育常任委関連39件、経済福祉常任委関係28件）の事業について行政評価をした。
	③議決権範囲の拡大	○	○	○	○	町の主要計画を議決対象としたことで、各計画が広く認識され内容の充実に繋がっている。継続的に見直しを行っており現在の議決対象計画等は13件となっている。（令和4年度は新たに追加・削除した議決対象計画等はなし。）
8. 事務局の 充実度	①議場等の整備充実	○	○	○	○	議場映像設備（R元）、議場等音響設備（H28）の更新を行うなど、設備の適正管理により映像配信等の精度向上が図られている。タブレット端末の導入（R3）により議案等のペーパーレス化も図られている。
	②事務局の充実強化	○	○	○	○	情報公開の迅速化、情報・資料収集の充実、法務能力の向上などに取り組んでいる。職員体制は正職員3人、会計年度任用職員1人で充実している。
9. 適正な議 会機能	①法規定以外の執行部付属機関への委員就任廃止	○	○	○	○	法定となっている、都市計画審議会のみ就任している。
	②適正な議会経費	○	○	○	○	諮問会議の答申を踏まえ、適正な議会活動費の基準となる標準額を決定、平成30年度に見直ししている。令和4年度からはペーパーレス会議システムに係る費用が追加された。（当初標準額＝3,184千円・H30見直し標準額＝4,355千円、R4予算5,549千円）
	③議会の自主性強化（条例等制定・改正）	○	○	○	○	「議会基本条例見直し検討による行動計画」に基づき課題に取り組んでいる。平成21年度より年度を会期（期間）とした「通年議会」を実施している。議会基本条例等の検証と実績の反映を期し、平成30年度に全体的にわかりやすく改正、新たに2条例・7要綱を制定（議会参画条例・政治倫理条例等）
	④議会付属機関の設置（議会基本条例諮問会議）	○	○	○	○	議会基本条例諮問会議を設置し毎年度数項目を諮問し、それぞれ答申を受け議会活動に反映している。諮問会議条例の改正（R4.1）：諮問委員数を5名から10名に増員。（産業・文化・スポーツ団体等の推薦、公募）
	⑤系統議長会の体制整備	○	○	○	○	道議長会に対し、町村議会が利用しやすいホームページへの見直しを要望している。（資料提供、道内の町村議会へのリンク等）
	⑥条例の制定・改正			○	○	・福島町議会個人情報保護条例の制定（3月会議） 議会における個人情報を保護するため議会独自の個人情報保護条例を制定
10. 研修活 動の充 実強化	①研修の効率的な取り組み	○	△	△	○	本会議等の事前勉強会を実施し議案等の要点や問題点を確認している。議員研修会の報告をし情報共有を図っている。R4年度は新型コロナウイルスの感染拡大も落ち着きを見せ始めた10月に、経済福祉常任委員会委員を中心に政務活動費を活用して福島県富岡町の有害鳥獣処理施設への視察研修を行った。
	②視察受入れ市町村等			○	○	R4年度に受け入れた視察の数は5件となっており、うち議会改革等に関係する視察を道内栗山町、愛媛県愛南町、群馬県桐生市から、アワビ陸上養殖事業への視察を道内様似町から、友好町交流事業への視察を長崎県松浦市から受入れました。（R2＝1件、R3＝0件、R4＝5件）

* 「討論」とは、議会の本会議において、採決の前に、議題となっている案件に対し、議員個々が賛成か反対の意思を表明すること。

しもん 議会評価に対する諮問会議意見

議会運営委員会による議会評価については適正である。

各団体との懇談会については議会から各団体へ声かけをし、積極的に開催されるよう望む。

評価概要

「議員活動の自己評価」

令和4年度分（令和4年4月～令和5年3月）

平成17年から始めた議員の自己評価は、今回で18回目となります。右表の5主要指針に基づいて具体的に取り組んだ事項を3段階で自己評価したものです。

集計の結果、「取組の評価」については、項目全体の168項目中、「○ほぼ満足」が83件で49%、「△努力が必要」が77件で46%、「▲さらに努力が必要」が8件で5%となりました。

次に、「成果の評価」については、項目全体の168項目中、「○ほぼ満足」が46件で27%、「△努力が必要」が84件で50%、「▲さらに努力が必要」が38件で23%となりました。

取組の評価では「○ほぼ満足」が49%ですが、成果の評価では27%と大きく差があります。

今後も各議員の取り組みが今まで以上に成果として反映されるように努力する必要があります。

議員個人としての活動については、2名の議員から報告がありました。

自己評価の指針

主要指針	評価の指針等
1. 態度評価	町民の立場で発言・行動をしているか。議会での態度(居眠り、私語など)、審議の態度(品位の保持、審議への協力)
2. 監視評価	一般質問、質疑・意見交換・討議(発言)、討論などで行政執行をチェックしたか。
3. 政策提言評価	町民の意向を政策に反映させるため、行政への一般質問、質疑・意見交換・討議(発言)、討論などで政策提言をしたか。
4. 政策実現評価	一般質問、質疑・意見交換・討議(発言)、討論などで指摘した事項が改善されたか。政策提言した事項が実現したか。
5. 自治活動・議会改革取り組み評価	議会報告をしているか。地域活動へ参加しているか。町づくりなどへの貢献度はどうか。町民ニーズの把握はどうか。

議員別の評価集計

議 員 名	佐藤孝男		平沼昌平		木村 隆		川村明雄	
項 目	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	12	9	12	7	10	9	11	3
△ 努力が必要	2	5	5	8	5	5	8	16
▲ さらに努力が必要	0	0	0	2	0	1	2	2
計	14	14	17	17	15	15	21	21

議 員 名	杉村志朗		藤山 大		小鹿昭義		平野隆雄		溝部幸基		合 計	
項 目	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	10	5	13	7	3	0	2	1	10	5	83	46
△ 努力が必要	1	1	9	13	10	13	15	10	22	13	77	84
▲ さらに努力が必要	2	7	0	2	0	0	1	7	3	17	8	38
計	13	13	22	22	13	13	18	18	35	35	168	168

議員個人としての活動

	藤山 大	溝部幸基
報告会等の実施	—	1
議員だよりの発行	—	—
個人ホームページの開設	—	○
その他	○	—

〔分野別の評価種類は、次のとおり省略しています。〕「取組」=取組の評価 「成果」=成果の評価

教えて！

ぎかいのコトバ 議員活動の目標(公約)とは？

選挙公報による公約とともに、適正な議会・議員の役割を果たすために、前年の自己評価による反省点や課題などを翌年の議会・議員活動の目標(公約)として、平成19年から公表しています。

本年度は、9名の議員で総数項目137項目(昨年度：9名提出 161項目)となりました。

* 個人票はP24～P31に掲載しています。



「議員」の評価結果（個人票）

評価の分類：○＝「ほぼ満足」 △＝「努力が必要」、
▲＝「さらに努力が必要」
評価期間：令和4年4月～令和5年3月



佐藤 孝男 76歳

議員歴28年
経済福祉常任委員長
議会運営委員
渡島西部広域事務組合議会議員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	若者の定住と雇用の場の推進	△	△
	大型公共施設に向けての提言（吉岡温泉ゆとらぎ館、種苗センター）	○	○
財政	財政健全化の推進	○	○
経済	一次産業の振興と新規就業者の育成	○	△
	ほだ木確保のため町有林調査、作業路の整備	○	△
福祉	町立診療所の健全運営	○	○
	予防医療の推進	○	○
教育	学校給食での地場作物利用強化	○	○
	食育の取組み推進	○	△
	体験学習の推進	△	△
その他	町民との懇談、各産業団体との懇談を通して議会活動に役立てる	○	○
	各種行事の積極的な参加	○	○
	第2青函トンネルの実現に向けての推進	○	○
	松前半島道路の早期実現に向けた推進	○	○



平沼 昌平 67歳

議員歴18年
議会運営委員長
経済福祉常任委員
渡島廃棄物処理広域連合議会議員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想実現に向けた町内外に対する活動	○	○
	IT環境の整備促進と移住者を呼び込む定住環境の整備促進	○	▲
	防災対策と危機管理の提言	○	○
財政	財政健全化に対する効率的な財政運営に対しての提言	○	△
	有利な財源を使った町内経済の活性化等の提言	○	△
	人口減少に対する積極的な財政支援と効率的な事業支援の提言	○	△
経済	農林水産業の担い手対策と町内雇用の創出（地元企業の雇用環境の充実を含む）	△	△
	地場産品の開発と研究・異業種とのマッチングを進める人材・団体の助成	△	△
	地場産品の地産地消に向けた自律循環システムの構築に対する提言	△	△
	新型コロナウイルスに対する感染対策とウィズコロナの対応に向けた取組の提言	○	○
福祉	高齢化人口に対する福祉環境の充実と施設環境の整備に向けた提言	○	○
	健康福祉の向上と医療費抑制に対する提言（がん検診の向上）	○	▲
教育	ゆとりのある子育て環境の充実と英語教育の充実	△	△
	小中高一貫教育の在り方とIT教育の充実	△	△
その他	議会議員の魅力化と町民参画型議会活動の充実（議員のなり手不足対応に向けて）	○	○
	松前・福島間の現国道に対する防災対応の迂回道路建設に向けた提言	○	○
	鳥獣駆除に対する環境整備と担い手確保に向けた提言	○	○



読めば読むほど 詳しくなれる！ するめコラム⑥

第2青函トンネルとは？

津軽海峡に新たに掘られる可能性のあるトンネルです。現在の青函トンネルは、在来線の貨

物列車と共用する区間があることから、最高速度がおさえられていますが、実現することで課題が解決し、新幹線の速度向上につながります。

青函トンネル工事基地であった福島町が「第2青函トンネル構想を実現する会」を設立し、講演会の開催など構想実現に向けた情報発信等の取組が行われています。

3月12日開催の特別講演会は函館市にて国会議員をはじめ約200人の参加がありました。



木村 隆 43歳

議員歴16年
総務教育常任委員

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
行政	防災無線の役割の検証	△	△
	産学官の新たな展開、可能性を探索	○	△
	第2青函トンネルの活動推進	○	△
財政	大型公共事業に伴う財源の確保	○	○
	コロナ交付税を利用した景気循環政策	○	○
	ウッドショック、円安など物価上昇に伴う対策	△	○
経済	吉岡漁港整備と漁獲向上対策	△	△
	木材チップ等林業政策の充実	○	○
福祉	介護従事者の作業効率を上げる仕組み作り	△	△
	国保税統一化に伴う影響を注視	○	○
	ゴミ減量化施策	△	○
教育	コロナ禍における学校教育の充実	○	○
	高校の町外生徒受け入れ対策	○	○
	プログラミング教育講座の再考	○	▲
その他	子育て環境の充実	○	○



川村 明雄 77歳

議員歴15年
総務教育常任委員長
議会運営委員

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
行政	ゼロカーボン対策の推進	▲	▲
	第二青函トンネル構想の推進	△	△
	道の駅構想への考察提言	△	△
財政	各基金の有効活用	△	△
	町内経済活性化対策	○	△
	特別職の財政負担考察	△	△
経済	陸上養殖アワビ生産拡大対策	○	△
	寄付された森林等の活用施策と林産業の開発促進	○	△
	地場産品の開発、ブランド化対策	△	△
福祉	障害者の雇用促進	○	△
	シルバー人材センターの考察	○	△
	がん検診受診率向上対策	○	△
教育	福島高校の魅力開発対策	○	○
	教員の働き方対策	△	△
	小中高一貫教育の考察	△	△
その他	町民要望に対する即時対応	○	○
	若年層の文化活動の推進	○	○
	今冬の降雪被害建物の解体	△	△
	ウクライナ国民難民受け入れ計画	▲	▲
	町内公衆トイレの美化対策	○	△
	中古住宅利活用対策の考察	○	△



杉村 志朗 74歳

議員歴24年
総務教育常任委員
渡島西部広域事務組合議会議員

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想の早期実現の推進	○	○
	景観が損なわれる空き家住宅の調査	○	▲
	安定的定住対策の推進	○	△
財政	コロナウイルス後による町内景気の回復	○	▲
	町内診療所の経営黒字化の実現努力	△	▲
経済	町内スポーツ施設利用者増に期待	○	▲
	養殖アワビ飼育の安定営業	○	○

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
福祉	少子化対策と高齢者医療の充実	○	○
	社会福祉協議会の健全経営	○	○
教育	地元、小・中学生徒のスポーツ活動の支援	○	○
	福島商業高校における募集成果に期待	○	▲
その他	桧倉地区の水田跡地の活用	▲	▲
	運転免許証返納者への対応	▲	▲



藤山 大 48歳

議員歴10年
経済福祉常任副委員長

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想推進	○	○
	若者の定住・少子化対策と高齢者にやさしい町づくりの政策提言	△	△
	危険と思われる町道整備と防災のスピーディーな対策の推進	○	△
財政	優先順位を持った財政運営の推進	○	○
	町立診療所運営健全経営推進	△	▲
経済	一次産業のさらなる発展への提言	△	△
	漁業者へのやさしい対応と漁獲量につながる新たな提言	○	○
	農業者へのやさしい対応と後継者育成	△	△

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
経済	新型コロナウイルス感染症対策（人的支援・町内経済支援）	○	△
	B級グルメ等福島町の良さをPR強化	○	○
福祉	町民が安心安全な町づくりとサポート体制	△	△
教育	福島商業高等学校存続対策	○	△
	今後の小学校のあり方（福島小学校と吉岡小学校の統合）	△	△
	文化・伝統を後世に残すための取り組み（四ヶ散米行列、奴行列、荒馬、七福神等）	△	△
	豪雪・暴風（災害）による休校時のzoomを活用した自宅授業を提言	○	△
その他	今後の「道の駅」のあり方	△	▲
	各種行事への積極的な参加	○	○
	各種団体と協力し、経済効果に繋がる集客力が期待できるイベントへ発展させるための提言	△	△
	松前半島高規格道路整備の推進	○	△
	観光客を増やすためのPR（岩部クルーズ・両記念館等）	○	○
	インターネットを使つての報告（YouTube、Twitter、Zoom）	○	○
	吉岡温泉の予算を含めたチェック	○	△

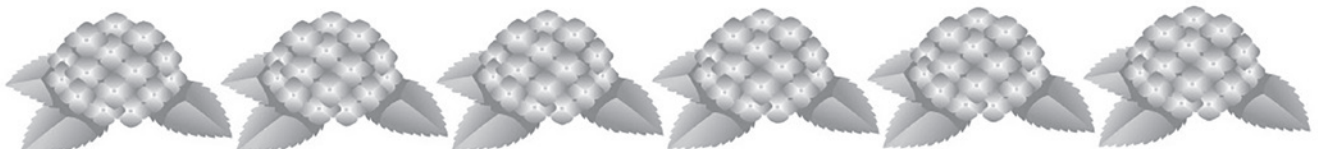


小鹿 昭義 70歳

議員歴3年
経済福祉常任委員
議会運営委員

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
行政	一人ひとりが輝く、みんなが主人公のまちづくりへの提言	△	△
	第2青函トンネルの構想実現	○	△
	新しい風を吹き込み、安全安心で町民と共に、未来に向かうまちづくりへの提言	△	△
財政	財政歳入歳出の更なる透明化の向上を図り、健全な町運営を推進、町関係施設の黒字化を提言	△	△
	経費全体についての見直しを行い、予算編成の見直しを提言	△	△

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
経済	農業、漁業、水産、林業、商工業、観光などの地場産業の振興の推進	△	△
	自然、文化、歴史など、まちの特性を活かした広域観光事業の推進	△	△
	新卒者や求職者のための雇用の場を確保するため企業誘致の推進を提言	○	△
福祉	お年寄りや身体の不自由な方の要望に応じていく仕組みの確立化を推進	△	△
	子どもたちの社会教育の充実を目的に、お年寄りとの交流機会を推進	△	△
教育	低学年向けにネイティブでやさしい英会話教育の場を提言	△	△
	家庭、学校、社会が連携した町民主体の文化、スポーツ活動を支援し、自ら学ぶ意欲と個性を伸ばしていく教育を推進	△	△
その他	町民の目線に立ち、町議、町職員と共に、話し合い、「町民のためになるのか。ならないのか。」を見極め、課題に取り組む	○	△



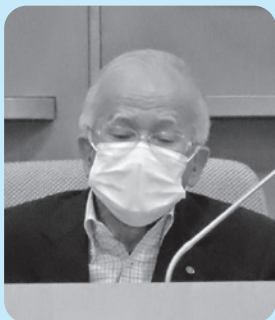


平野 隆雄 74歳

議員歴27年
副議長
広報・広聴常任委員長
総務教育・経済福祉常任委員
渡島廃棄物処理広域連合議会議員

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想推進の実現へ	△	△
	町内景気の活性化推進で交流人口増	△	△
	福島川改修事業の早期実現	○	△
財政	財政調整基金の活用	△	△
	町立診療所運営の健全経営実現	△	△

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
財政	各町内会館の再編推進	△	△
経済	養殖コンブ製品増の推進	△	△
	スルメ加工以外の商品開発推進	△	▲
	アワビカレー更なる生産増	△	▲
福祉	超高齢化と超人口減少に対する町づくりの提言	△	▲
	吉岡温泉ゆとらぎ館新築の早期実現へ	△	△
	がん検診の検診率向上推進	△	▲
教育	少子化の中の教育行政推進	△	△
	学芸員配置で縄文土器等による町づくりで交流人口増	△	▲
	青少年交流センター建設の推進	○	○
その他	学校等における相撲人口増で横綱の里推進	△	▲
	岩部海岸クルーズ中心の交流人口の活性化推進	△	△
	木古内、知内、福島、松前に高規格道路整備の推進	▲	▲



溝部 幸基 75歳

議員歴42年
議長
総務教育・経済福祉常任委員
渡島西部広域事務組合議会議長

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進(各計画に関する提言・検証)	△	△
	自律、協働の「小規模多機能自治」に関する調査	△	▲
	「公契約条例」に関する調査研修	△	▲
	行政サービスの効率的な運営への提言(外部委託・時間差出勤・研修等)	△	▲
	防災対策の提言(災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修)	△	△
	過疎自治体における政策推進のあり方	△	▲
	浄化槽(下水道整備)の普及推進	▲	▲
	第2青函トンネル構想実現に向けた活動推進	○	△
財政	財政健全化への取組(予算・決算審査・行政評価充実：基金の有効活用)	△	△
	退職手当制度の抜本的改善	▲	▲
	各団体等への補助金、事業助成金等のあり方	△	△
経済	新しい仕事の創出(起業)に挑戦できる支援システムの創設	△	△
	異業種連携による「福島ブランド」の開発(ブランド化システムの再検討)	△	▲
	地場産品の6次産業化に関する調査研修	△	▲

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
経済	産業団体と課題に取組む産業公社の仕組みづくりの調査研修	△	▲
	地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修	△	▲
	鳥獣捕獲処理に関する調査研修(施設建設関連調査)	○	○
	制度融資の貸し剥がしに関する調査研究	○	○
福祉	過疎自治体における超高齢化対策に関する調査	△	▲
	「健康な町づくり」(全町的な取り組み)で医療費の節減	△	▲
	公立診療所のあり方に関する調査研修	△	▲
	在宅介護支援体制の整備(社会福祉協議会の役割)	△	▲
	家庭ごみ等減量対策の具現化に向けた調査研修	○	△
教育	小中一貫教育、コミュニティスクールの調査研修	▲	▲
	過疎自治体における高等教育推進に関する調査	△	△
	「子育て基本条例」制定に向けた取組み(情報収集・研修)	△	▲
	「自分(達)ですべき事は自分(達)でする」主体性をもった自治活動の推進	△	▲
	食育・地産地消の推進(「食育基本計画」→情報周知・実践計画・研修)	△	△
その他	わかりやすく、町民が参加出来る議会の実現(議会基本条例の周知)	○	△
	活発な討議(討論)ができる議会の実現	○	△
	政策的な提案のできる議会の実現	○	△
	幅広い情報収集、積極的な研修参加	○	○
	視察の積極的な受け入れ(栗山町、愛媛県愛南町、群馬県桐生市、長崎県松浦市、様似町)	○	○
	ホームページの充実(提案、情報発信、参加型)	△	△
	各種行事への積極的な参加	○	○

議員活動の目標（公約）（個人票）

目標期間：令和5年4月～令和5年8月



佐藤 孝男

分野	具 体 的 な 目 標 項 目
行 政	若者の定住と雇用の場の推進
	大型公共施設(吉岡温泉、種苗センター)の健全な運営を注視
財 政	財政調整基金の健全な運用
経 済	陸上養殖アワビの生産拡大
	一次産業の振興と新規就業者の育成
	ほだ木の確保のため町有林調査と作業路の整備
福 祉	町立診療所の健全運営
	予防医療の推進
教 育	学校給食での地場産物利用強化
	食育の取組み、体験学習の推進
	高校の町外からの受け入れ強化
その他	第2 青函トンネルの実現に向けての推進
	松前半島道路(防災道路)の推進
	各種行事の積極的参加



平 沼 昌 平

分野	具 体 的 な 目 標 項 目
行 政	IT 環境の整備促進と移住者を呼び込む定住環境の整備促進
	第2 青函トンネル構想実現に向けた町内外に対する活動
	防災対策の対応(避難路確保、避難備蓄庫等)と危機管理の熟成を提言
財 政	人口減少に対する積極的な財政支援と効率的な事業支援の提言
	子育て環境整備と出生率向上に向けた財政支援策について提言
経 済	農林水産業の担い手対策と地元企業の雇用環境の充実
	移住促進に向けた対応と地元町民の理解による協力体制への提言
	高齢者再雇用に向けた町内企業への率先した財政支援について
福 祉	ウィズコロナの対応に向けた生活環境の取組の提言
	高齢化人口に対する福祉環境の充実と施設環境の整備に向けた提言
教 育	道立福島商業高校存続のための生徒確保に向けた取組と提言
	小・中・高一貫校に向けた町独自の教育体系
その他	議会議員の魅力化と議会活動の見える化に向けた取組
	女性議員・若手議員等、なり手確保のための議会改革



木 村 隆

分野	具 体 的 な 目 標 項 目
行 政	総合計画6次への提案、提言
	当町の脱炭素政策の具体的な方向性
財 政	大型公共施設完成後の財政運営の注視
経 済	コロナ5 類移行後の経済循環政策
	昆布養殖作業効率向上政策
教 育	義務教育予算の確保(教科担任制など)
	高校入学生徒の P R
その他	松前半島道路(防災道路)計画の遂行
	第二青函トンネルの機運向上政策



川村 明雄

分野	具 体 的 な 目 標 項 目
行 政	第2青函トンネル構想の推進
財 政	各基金の有効活用対策
	特別職の財政負担の考察
経 済	森林林業、林産業の活性化対策の推進
	陸上養殖アワビの生産拡大対策
福 祉	シルバー人材センターの考察
教 育	福島商業高校の安定的な入学生確保対策
	教員の働き方対策の推進
その他	中古住宅の現況、維持等、短信対策



杉村 志朗

分野	具 体 的 な 目 標 項 目
行 政	第2青函トンネル構想の早期実現の推進
	防災危機管理の訓練
財 政	各町内会館の推進
	無理のない基金の活用
経 済	スルメ加工者の高齢化対策
福 祉	町立診療所に対する調査
	高齢化対策に対する調査
教 育	次年度の高校入学定員の増に期待

読めば読むほど
詳しくなれる！

するめコラム⑦

松前半島防災道路とは？

福島町と松前町を繋ぐ新たな道路です。

現在、福島町は国道228号線を利用して他町と往来しています。しかし、松浦～白神間では、越波やがけ崩れ、悪天候による通行止めが発生し、一般車両はもとより、救急車などの緊急車両も影響を受けています。そこで、防災対策として提案されたのが、松前半島防災道路の整備です。

3月13日に開催された北海道開発局での検討会で、旧JR松前線跡を活用した総延長約7.4kmの防災対策が妥当と判断され、令和5年度新規事業に採択されました。

令和5年度予算として、新たな防災道路整備に向けたルート測量や地質調査に必要な予算が確保されています。

なお、4月13日に、福島町長、松前町長が国土交通省北海道局や財務省主計局へ早期着工にむけた要請を行い、同月24日には議会も合同で要請を行っています。



藤 山 大

分野	具 体 的 な 目 標 項 目
行 政	第2青函トンネル構想推進
	若者の定住・少子化対策と高齢者にやさしい町づくりの政策提言
	危険と思われる町道整備と防災のスピーディーな対策の推進
財 政	優先順位を持った財政運営の推進
	町立診療所運営健全経営推進
経 済	一次産業のさらなる発展への提言
	漁業者へのやさしい対応と漁獲量につながる新たな提言
	農業者へのやさしい対応と後継者育成
	新型コロナウイルス感染症対策(人的支援・町内経済支援)
	B級グルメ等、福島町の良さのPR強化
福 祉	町民が安心安全な町づくりとサポート体制
教 育	福島商業高等学校存続対策
	文化・伝統を後世に残すための取り組み (四ヶ散米行列、奴行列、荒馬、七福神等)
その他	今後の「道の駅」のあり方
	各種行事への積極的な参加
	各種団体と協力し、経済効果に繋がる集客力が期待できるイベントへ発展させるための提言
	松前半島高規格道路整備の推進
	観光客を増やすためのPR(岩部クルーズ・両記念館等)
	インターネットを使つての報告(YouTube、Twitter、Zoom)



小 鹿 昭 義

分野	具 体 的 な 目 標 項 目
行 政	一人ひとりが輝く、みんなが主人公のまちづくりへの提言
	第2青函トンネルの構想実現
	新しい風を吹き込み、安全安心で安定したまちを構築し、町民と共に未来に向かうまちづくりへの提言
財 政	財政歳入歳出の更なる透明化の向上を図り、健全な町運営を推進、町関係施設の黒字化を提言
経 済	農業、漁業、水産、林業、商工業、観光などの地場産業の振興の推進
	物価高による町民に対する経済面の支援を提言
	新卒者や求職者のための雇用の場を確保するため企業誘致の推進を提言
福 祉	お年寄りや身体の不自由な方の要望に応じていく仕組みの確立化を推進
	お年寄りを助成する施設や、民間企業への支援を推進
教 育	小・中学生のパソコンを使ったプログラミングなど、資格取得へ向けた学習の提言
	家庭、学校、社会が連携した町民主体の文化、スポーツ活動を支援し、自ら学ぶ意欲と個性を伸ばしていく教育を推進
その他	町民の目線に立ち、町議、町職員と共に、話し合い、「町民のためになるのか。ならないのか。」を見極め、課題に取り組む



平野 隆雄

分野	具 体 的 な 目 標 項 目
行 政	第2青函トンネル構想の早期実現推進
	町内景気活性化推進で交流人口増
	福島川改修事業の早期実現
財 政	財政調整基金の有効活用
	コロナ後の町立診療所運営の健全経営
	町内会にあった新しい町内会館へ
経 済	養殖コンブ製品増の推進
	蝦夷アワビ(養殖)生産増へ
	スルメ以外の商品開発推進
福 祉	高齢化と人口減少に対する町づくりの提言
	吉岡温泉ゆとらぎ館早期開業へ
	がん検診の検診率向上推進
教 育	少子化の中の教育行政推進
	福島商業高等学校入学増の推進
	青少年交流センターで生徒と町民の交流推進
その他	福島(吉岡)、松前(荒谷)新ルート防災道路の推進
	岩部海岸クルーズによる交流人口の活性化推進
	両記念館、伊能忠敬公園の観光客に向けたPRを推進



溝 部 幸 基

分野	具 体 的 な 目 標 項 目
行 政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進 (各種計画に関する提言・検証)
	自律、協働の「小規模多機能自治」に関する調査
	行政サービスの効率的な運営への提言 (外部委託・時間差出勤・研修等)
	防災対策の提言 (災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修)
	過疎自治体における政策推進のあり方
	浄化槽(下水道整備)の普及推進
	第2青函トンネル構想実現に向けた活動推進
	ハラスメント条例の制定に向けた調査研究
財 政	財政健全化への取組 (予算・決算審査・行政評価充実：基金の有効活用)
	退職手当制度の抜本的改善
	各団体等への補助金、事業助成金等のあり方
経 済	新しい仕事の創出(起業)に挑戦できる支援システムの創設

分野	具 体 的 な 目 標 項 目
経 済	異業種連携による「福島ブランド」の開発 (ブランド化システムの再検討)
	地場産品の6次産業化に関する調査研修
	産業団体と課題に取り組む産業公社の仕組みづくりの 調査研修
	地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の 町づくり」の研修
福 祉	過疎自治体における超高齢化対策に関する調査
	「健康な町づくり」(全町的な取り組み)で医療費の節 減
	公立診療所のあり方に関する調査研修
	在宅介護支援体制の整備(社会福祉協議会の役割)
	労働者協同組合に関する調査研究 (活動事例、行政連携等)
教 育	家庭ごみ等減量対策の具現化に向けた調査研修
	小中学校一貫教育、コミュニティースクールの調査 研修
	過疎自治体における高等教育推進に関する調査
	「子育て基本条例」制定に向けた取組み(情報収集・研 修)
	「自分(達)ですべき事は自分(達)でする」主体性を もった自治活動の推進
	食育・地産地消の推進 (「食育基本計画」→情報周知・実践計画・研修)
その他	わかりやすく、町民が参画できる議会の実現 (議会基本条例の周知)
	活発な討議(討論)ができる議会の実現
	政策的な提案のできる議会の実現
	幅広い情報収集、積極的な研修参加
	視察の積極的な受け入れ
	ホームページの充実(提案、情報発信、参加型) 各種行事への積極的な参加

町民の声

前進する若者



福島小学校校長
岡室伊知郎

昨年度、福島町の青少年主張大会に審査員として参加する機会を得て、町内小中高生6名の主張を聞きました。その中で審査員として冷静に主張を聞くことができなかった生徒がいました。その生徒は18歳で高校1年生。なぜ18歳で高校1年生なのか、その理由も包み隠さず話をしてくれました。たぶん彼はなんとしてでも高校生活を送っていくと決めたのでしょう。そんな覚悟が伝わる主張でした。さらに、彼の後ろには、それを受け止める福商の先生方と生徒たち。年下の同級生たちも年齢などに惑わされず、普通に仲間として受け入れるなど、あっぱれな対応に感心するのみです。

私自身、今回の主張大会に参加して、いつまでも、時間が経っても歩み続ける若者の味方ができる大人でありたいと思いました。

議員の雑感

親孝行とは？



経済福祉常任委員
藤山 大

今年は、WBCのドラマのような感動的なシーンに日本中が歓喜に包まれました。また、コロナ対策も緩和され「その場に合ったマスクの着用（任意）」となりました。さて、親孝行で後悔しないようにするためのことわざで「親孝行したい時には親はなし」という教訓があります。

恩について、仏教では次のような教えがあります。「修行者達よ、善からぬ人は恩を知らず、恩を感じない。恩を知らず、恩を感じないということは、賤しい人々によって賞讃されている。恩を知らないことと、恩を感じないということは専ら善からぬ人の基盤である。」

「修行者達よ、善き人は恩を知り、恩を感じる。恩を知り、恩を感じるということは、気高い人々によって賞讃されている。恩を知ることと、恩を感じるということは専ら善き人の基盤である。」

恩を知ることが親孝行の第一歩であるとの教えを自覚し、議員としては今も変わらず福島町民ファーストを目標にしっかり活動してまいります。

主な会議・行事予定

6月

第6次総合計画策定調査特別委員会

6月6日(火) 午前10時～

一般質問通告

6月13日(火) 午前10時～午後2時

議会運営委員会

(6月会議の運営ほか)
6月13日(火) 午後3時～

委員会室

渡島議長会臨時総会

6月14日(水) 札幌市

北海道議長会定期総会

6月15日(木) 札幌市

議員勉強会

6月19日(月) 午後1時30分～
議員控室

宮城県仙南・巨理地方町議長会視察受入

6月20日(火) 午後1時30分～
議員控室

議会定例会6月会議

6月21日(水)～22日(木) 議会議場

7月

全道町村議員研修会

7月4日(火) 札幌市

議会運営委員会

(議会だよりほか)
7月20日(木) 午後1時30分～
議員控室

編集後記

新年度に入って2か月が経ちました。例年になく早い桜の開花など、今年の春は駆け足でやってきたように感じられたのではないのでしょうか。

さて、春は何かと環境の変化が多い季節ですが、5月には新型コロナウイルス感染症の扱いが2類から5類に変更となり、様々な制約の中開催できなかったイベントや行事も復活してきていますね。

この数年間で起きた社会の変化や蓄積されたアイデアにより、今まで通りではなく、新たな姿となるイベントも期待されます。大きな変化、小さな変化、目には見えない変化、新たな出会いも……。裏方として努力を続けている多くの方々にも思いを馳せながら、多くの方が楽しめると思いますね。

8月発行の「議会だよりふくしま」では、定例会6月会議を中心に紹介する予定です。



北方領土返還要求運動
シンボル「千島桜」